

第1回 県土整備部指定管理者評価委員会 都市公園部会
議事概要

令和4年7月27日（水） 観音山ファミリーパーク

1 開会

2 あいさつ

3 現地調査

4 議事

- (1) 改善事項進捗状況報告
- (2) 令和3年度 第3四半期・第4四半期 モニタリングシート
- (3) 令和4年度 管理運営方針・事業計画書
- (4) 管理運営状況に関する意見交換

5 事務連絡

6 閉会

【資料】

- 資料① 改善事項進捗状況報告書
- 資料②-1 第3四半期：総括表、モニタリングシート
- 資料②-2 第4四半期：総括表、モニタリングシート
- 資料②-3 年度評価
- 資料③-1 令和4年度 管理運営方針
- 資料③-2 令和4年度 事業計画書要旨
- 資料④-1 タイムスケジュール
- 資料④-2 現地集合場所
- 資料⑤ 令和3年度評価結果概要
- 別紙 評価シート

○出欠表

評価委員出席名簿（当日出欠表）

KFP

氏 名	役 職	7/27 (水)
小林 享	前橋工科大学社会環境工学科 教授	○
南 賢二	立正大学 経済学部 特任教授	○
山崎 正久	群馬県社会保険労務士会 副会長	○
鴻上 まつよ	群馬県中小企業診断士協会 副会長	○
小林 孝子	群馬県女性団体連絡協議会 理事 ぐんま地域活動連絡協議会 会長	○
藤井 春俊	ボーイスカウト高崎台 22 団 団委員 日本ボーイスカウト群馬県連盟副理事長	○
藤井 稔	観音山ファミリーパーク公園作り委員会元委員 森のレストラン ころむす 社長	○
高見澤 佳子	高崎子ども劇場 理事長	×

1 開会

2 あいさつ

3 現地調査

4 議事

(1) 改善事項進捗状況報告書について

(指定管理者)

- ・「改善事項進捗状況報告書」について説明。

(委員)

- ・土木事務所から何か補足等はあるか。

(土木事務所)

- ・特になし。

(委員)

- ・改善指摘事項について、意見又は質問はあるか。

(他委員)

- ・特になし。

(2) 令和3年度 第3・第4四半期 モニタリングシート

(指定管理者)

- ・「令和3年度 第3・第4四半期 モニタリングシート」について説明。

(委員)

- ・土木事務所から補足等はあるか。

(土木事務所)

- ・特になし。

(委員)

- ・モニタリングシートについて、意見又は質問はあるか。

(委員)

- ・ハロウィンのフォトスポットは手作りか。
- ・また、ひな祭りイベントのQRコードはどのように活用するのか。

(指定管理者)

- ・フォトスポットは手作りである。
- ・QRコードを読み取ると、クイズが出てくるようになっており、利用者参加型のゲームとなっている。

(委員)

- ・利用者は多かったのか。
- ・また、若い世代が取り組んだとの説明があったが、どういうことか。

(指定管理者)

- ・利用者は多かった。
- ・若い職員が検討し、人と人が関わらなくても楽しめるスタンプラリーを企画したことが、画期的だったということである。

(委員)

- ・職員の入れ替えの更新はどうなっているか。

(指定管理者)

- ・定年の年齢を60、70、73と3段階設けており、実力のある人間を延長して雇用している。

(委員)

- ・マスクをしない利用者を時折見かけるが、どういう対応をしているか。

(指定管理者)

- ・当初の警戒度が高いときは、忘れた方に提供していた。

(委員)

- ・園内でマスクなしは大丈夫か。

(指定管理者)

- ・屋外なら可能であるが、屋内はマスクありが前提となる。

(3) 令和4年度管理運営方針・事業計画書要旨

(指定管理者)

- ・「令和4年度管理運営方針・事業計画書要旨」について説明。

(委員)

- ・土木事務所から何か補足等はあるか。

(土木事務所)

- ・特になし。

(委員)

- ・委員の方で、管理運営方針及び事業計画書について意見又は質問はあるか。

(委員)

- ・SDGsについて伺いたい。

(指定管理者)

- ・日常的にどんな取組が持続可能であるのか考えているが、この公園は資源の有効活用が重要であると考えている。
- ・落ち葉や廃材の再利用についても、意識的に力を入れて公園の管理運営に取り入れていきたい。

(委員)

- ・自然の森については特に変化はないか。

(指定管理者)

- ・自然の森については点検を大事にしている。
- ・自然の森については、他の団体からの意見が多いため、土木事務所と相談しながら管理していきたい。

(委員)

- ・運営方針について、「(6) 来園者の満足度アップに向け、」というところについて、来園者の前に「多様な世代の」という文言を入れていただきたい。

(指定管理者)

- ・承知した。

(委員)

- ・ネーミングライツの導入による公園へのメリットが知りたい。

(事務局)

- ・群馬県では公共施設の維持管理に費用がかかる中で、各公共施設の魅力アップ、維持管理費の財源確保を目的としている。
- ・自然の森ではフェニックスという企業からネーミングスポンサーとなっていていただいている状況であり、ゲートの修正をしていただいたりしている。
- ・民間企業にスポンサーになっていただくことで、公園への愛着を持っていただき、多くの活動に参加していただくことも期待している。

(委員)

- ・カローラ高崎も同じか。

(事務局)

- ・そうである。
- ・カローラ高崎さんも取り組みたい事業について相談があるが、コロナ禍ということもあるため、時期も検討しながらできる限り対応していきたいと考えている。

(4) 管理運営状況に関する意見交換

(委員)

- ・バーベキュー場の受付の手前の園路で、コケが生え始めているので綺麗にしていきたい。
- ・利用者の少ない場所にもベンチの設置を検討していただきたい。
- ・遊具の点検をしていただいているが、その点検日等を遊具に表示すれば利用者も安心して遊具を利用することができると思う。

(委員)

- ・掃除が徹底しており、非常に清潔に保たれている。花も大変手入れが行き届いており感心している。
- ・駐車場の中で、展開スペースのための線が引かれているが、事故発生の危険性もあるため、その線の色を変えたほうが良いと感じる。

(委員)

- ・トイレが綺麗で非常に使いやすい。
- ・スタンプラリーの企画で、使わなくなった跳び箱を再利用しているスポットがあったが、いい取り組みであると感じる。
- ・花壇の花が色とりどりに咲いており、幼稚園の子どもにも花植を協力してもらうなど、地域を巻き込んだ素晴らしい取り組みであったため、今後も継続していただきたい。

(委員)

- ・コロナ禍にも関わらずたくさんの自主事業を行っているのが素晴らしいと感じる。
- ・公園管理をする上での組織体制はどうなっているのか。

(指定管理者)

- ・事務班が11人、作業班が6人、園芸班が6人、掃除班が4人、バーベキュー班が3人、敬宇30人の体制である。

(委員)

- ・園路にミストシャワーを導入したのはいい取り組みである。
- ・花の修景について、要所毎に上手くポイントを押さえ美しく修景されており、県民花壇は参加する幼稚園の数が増えていて素晴らしい。
- ・水やり用のホースにも気を配っており、工夫が素晴らしい。
- ・トイレも非常に綺麗で、ボランティアも参加していることは非常にいいことだと思う。

(委員)

- ・普段運営に関わっている人数はどれくらいか。

(指定管理者)

- ・基本は9人でローテーションしている。

(委員)

- ・何か事態が発生した時にある程度の人数はいた方がよいと思う。
- ・遊具の近くでは大人は子どもを見守るしかないなので、夏は暑くならないようにベンチの設置場所は工夫していただきたい。
- ・広い敷地であるのにも関わらずよく管理されていて素晴らしいと思うので、このまま継続して管理していただきたい。

(委員)

- ・イノシシの被害はあるか。

(指定管理者)

- ・現状被害は確認されていない。

(委員)

- ・イノシシの発生を防ぐ対策はどのような取り組みを行っているのか。

(指定管理者)

- ・園内については全面柵で囲い、たぬきやアナグマといったイノシシ以外の小動物については柵の下を潜ってくるため、発見次第穴を塞いでいる。

(委員)

- ・夜間に侵入者や、自動販売機の被害等があったか。
- ・駐輪場は正しく使用されているか。

(指定管理者)

- ・特にない。
- ・駐輪場については正しく利用されているが、増設を希望する声もある。

5 事務連絡

事務局から連絡

6 閉会